

令和7年3月31日

令和6年度京都市知的障害者学習ホームひかり学園  
管理運営業務事業報告書

標記の件について、下記（別紙）のとおり報告します。

記

自：令和6年4月1日 ～ 至：令和7年3月31日

- ・ 令和6年度京都市知的障害者学習ホームひかり学園管理運営業務報告書
- ・ 令和6年度京都市知的障害者学習ホームひかり学園管理運営業務に関する決算書

## 1. 管理運営業務概要

### (1) サービスの質の維持又は向上を図るための具体的な取組

配付物や館内表示などにルビを入れる、ひらがなで表記する、写真やイラストを多用するなどの合理的配慮に努めている。

### (2) 利用者の意見・要望、利用者ニーズの把握やそれらの業務への反映の方法

利用者の皆様とのコミュニケーションを積極的に行い、何でも話せる雰囲気づくりに努めている。また、お問い合わせや要望には親切丁寧に答えている。職員が対応困難なご意見やご要望があれば、京都手をつなぐ育成会担当理事に伝え、必要に応じて理事会に諮り解決をしている。

### (3) 利用者の平等な利用を確保するための方策（利用者への情報提供の方法等）

や、施設の利用者の増加や稼働率を高める利用促進の対策

施設利用促進のため、毎月発行している機関誌に毎月の行事予定を掲載し、ホームページでも広報している。また、貸し館を希望する団体がいた場合は、丁寧に手続方法を案内している。

### (4) 効率的な運営を行うための管理経費の縮減への取組・効率的な運営を行うための管理経費の縮減への取組

具体的な管理経費の縮減への取組としては、建物の維持管理経費の節減について、冷暖房の設定基準温度を設け、温度設定の徹底を行っている。また、使用しない部屋の電気は全て切るようにしている。事務用品費については、在庫管理を徹底し、必要以上のものを常備しないようにしている。その他の経費についても、最小の経費でその目的を達成し、かつその効果を発揮するように努めている。

また、ひかり学園の支出については、所長がその都度、担当理事と協議し、承認をとることを原則としている。5万円以上の高額支出(消耗品を除く)の場合、担当理事は、会長、税理士が参加する本部会議でその承認を得て執行している。

## 2. 施設の利用状況

〈別紙「令和6年度 ひかり学園月別使用状況一覧」のとおり〉

令和6年度 ひかり学園月別使用状況一覧

項目		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
1 日曜教室	男	74	41	38	45				38	89	44	35	82	412
	女	40	23	18	21				22	41	19	19	42	205
	小計	114	64	56	66	0	0	0	60	130	63	54	124	731
2 クラブ活動	おもしろ	6	10	8	9		8	8	9	8	6	9	9	90
	スポーツ	10	10	5	9		7	9	9	10	8	8	8	93
	お花	8	12	12	12			8	11	9		12	12	96
	トトロ	9	8	10	8		10	9	10	8	7	11	11	101
	アート	8	9	9	8		5	6	8	6	5	6	8	78
	クラフト	9	8	8	9		8	6	9	9	8	8	9	91
	小計	50	57	52	55		38	46	56	50	34	54	57	549
3	ひかり学習会	15	7	15	8		16	14	12	7	15	15	8	117
4	つばさ学習会	28	26	26	12		26	27	24	11	24	26	15	217
5	その他一般	237	226	238	283	154	334	223	277	187	210	243	314	2,926
1+2+3+4+5 計(人)		444	380	387	424	154	414	310	429	385	346	392	518	4,583
貸し出し件数 (件)		22	21	24	24	8	26	21	25	22	21	22	24	260

(参考) 学園外

日曜教室	0	0	54	0	48	66	59	0	0	52	0	30	309
こんにちは学習会	17	15	17	0	0	15	14	12	5	10	8	6	119
こだま学習会	17	17	21	8	0	17	14	16	7	6	8	6	137

## 令和6年度京都市知的障害者学習ホーム「ひかり学園」管理運営業務に係る事業評価

### 1 事業評価シートについて

コロナ禍が明けたことにより、利用者数及び施設貸出件数ともに増加することとなった。

引き続き、感染症対策にも注意を払いつつ、利用者のニーズに応えられる取組を展開し、利用の増加に取り組んでいきたい。

### 2 指定管理者の評価

「ひかり学園」は、50年以上の長きにわたり、保護者・支援者の懸命な努力で支えられており、今後ともその軸は揺らぐことはないと確信している。

「ひかり学園」は、本人の生活の一部となっており、今後とも指定管理者としてしっかりフォローしていかなければならないと考えている。

別紙1

事業評価シート

1利用者数

目標値…昨年度  
数値+5%

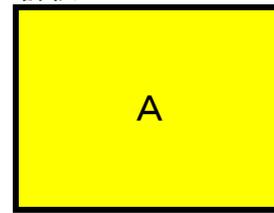
4435

=

103

%

評価



4583

2施設貸出件数

目標値…昨年度  
数値+10%

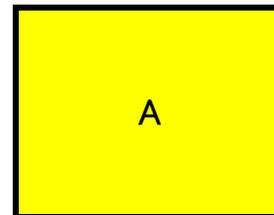
218

=

119

%

評価



260

評価について

A=100%~80%…達成できた

B=79%~60%…おおむね達成できた

C=59%~40%…まあまあ達成できなかった

D=39%~20%…あまり達成できなかった

E=19%~0% …達成できなかった

令和6年度

京都市知的障害者学習ホームひかり学園管理運営業務に関する決算書

収 支 決 算 書			
			(単位：円)
収   入	財 源 内 訳	予 算 額	決 算 額
	京都市委託金	5,377,000	5,377,000
	合 計	5,377,000	5,377,000
支       出	項 目	予 算 額	決 算 額
	人件費	3,630,000	3,722,910
	法定福利費	400,000	603,997
	光熱水費	660,000	779,474
	警備保障費	60,000	45,480
	通信運搬費	50,000	86,906
	会議費	10,000	0
	営繕備品費	10,000	14,960
	租税公課	450,000	328,662
	消耗・雑費	107,000	85,128
	合 計	5,377,000	5,667,517

消耗・雑費（賠償保険・廃棄物処理・町内会費他）